

バスケットボール分科会

基調提案

「バスケットの戦術と考える」 戸田雄二（東京支部 北沢小学校）

実践提案

「バスケットボールとの出会い（アウトナンバー）」
岡崎公伸（埼玉支部 入間市立西武小学校）

参加者の感想（大会速報「かもがわ」より）

・バスケ分科会の流れと課題がとてもわかりやすく示されました。私的にはもっと前の初歩的な段階で3：3が先の方が攻め方がわかりやすいのか（全ての生徒）それとも4（2；2）：4が先なのか、今一緒に考えていただけるとありがたいです。そして、バスケットボール5：5をどうとらえれば良いのか。さらにわからなくなってきました。バスケはう～ん、奥が深いです。（山梨・Hさん）

・バスケは初めての参加だが、バスケでもサッカーでも「様相の変化」における攻守をどのように、どの順番でどこから教えるのかは議論の余地が十分ある。サッカーでも然り。種目特性に応じたアプローチが求められる。明日の実技が楽しみ。（岡山・Mさん）

・重要空間や2：0の重要性はよくわかりました。でも、実際こういうことを頭に置いてバスケットボールをやった経験はないので、午後からの実技でいったいどういうものなのかを体で覚えたいと思います。3：3であったり、4：4、3：2等の特徴がまだわかりにくいです。（京都・Nさん）

・私は、小・中・高のバスケットボールの授業で、本日の報告にあったような授業を行ったことがなく、いつも基礎技術の練習をし、それらのテストをし、ゲームに入るというものでした。スポーツは、得意な人にとっては楽しいのですが、できない子や嫌いな子は、本当につまらないと思っていました。なので、今日の報告にあったような授業は、嫌いな人もいなくなったというのを聞き、とても重要だと思いました。でも、小学生は理解してくれるものなのかが、疑問に思うことです。（京都・Wさん）

・今までの座学では理解し切れなかったことも、実際にゲーム前の練習をすることで、とてもよく理解できました。4(2;2):4と3:3はプレーする役割が違ってきて、ボールの回し方も違ってきます。「なるほど」と、とても納得しました。しかし、ゲーム中はやはり焦ってしまって、練習どおりに動くことができませんでした。自分では4:4の練習どおりに動いたつもりですが、なかなかパスが回ってこなかったのが、重要空間に行けてなかったのかな〜と、終わってから思いました。(兵庫・Sさん)

・(2:2):4のゲームは、やる前は「難しそう、ややこしい」というイメージでしたが、段階を踏んで進めていくと、とてもわかりやすく、作戦通りにうまくできた時は、とても気持ちよかったです。同じチームの先生方が声をかけて下さったおかげで、球技が苦手な私でもゲームをすることができました。ゲームをする中でも、ペアを固定してやった方が、やりやすかったです。作戦通りにやるということは、初心者にとって難しいようで、意外とその方がやりやすいと思いました。(兵庫・Sさん)

・提案を聞くだけではわかりにくかったですが、実際に体を動かしてやってみると、はじめは戸惑いながらもやっていくうちにとてもよく理解できました。

2:2、4:4と最終段階に近づくにつれ、2:0の重要性を感じました。

また、実技(運動)では、交流もより多く図れ、楽しく取り組みました。

今日の活動を今後に取り入れていきたいです。(兵庫・Sさん)

・午前中の講義で学んだ2:0から最後は4:4までの流れを実際に体を動かすことで、より理解を深めることができた。特に「ボールを持たない人の動き(新学習指導要領に入り込んできた)」については、考えながら動く重要性を実感した。

また、初めて同志会バスケットにふれる人にもわかりやすく、動き方を自分なりに説明もできたので、収穫であった。2日間ありがとうございました。(宮城・Yさん)

